



**Institute of Social Science, University of Tokyo:  
Contemporary China Research Base Seminar Series (No.19)**

**現代中国研究拠点セミナーシリーズ(第 19 回)**

東京大学社会科学研究所現代中国研究基地系列研讨会（第 19 次）

中国の「インターネット+」と社会の変化、そして日本の関わり

中国的 “互联网+” 与社会变化、以及与日本的关系

趣旨説明：

中国ではブロードバンドでインターネットを利用している人が約 4 億人、スマホなど移動通信機器で利用している人が約 9 億人に達しました。中国政府は今年 7 月に「インターネット+」戦略を打ち出し、インターネットの応用をさまざまな分野に広めていく方針を示しました。すでにインターネットは中国の消費行動、メディア、金融、交通などに革命的な変化をもたらしつつあります。

このたび中国のインターネット革命の担い手たちの代表団が訪日します。この機会に、インターネットが中国社会をどう変えるか、日本がそこにどう関わるか、をテーマとするパネルディスカッションを開催します。ご関心のある東京大学・他大学の学生の皆さん、企業関係者の皆さんのご参加をお待ちしております。

主旨

目前在中国利用宽带上网者约为 4 亿人，利用智能手机等移动设备上网者约为 9 亿人。中国政府今年 7 月推出“互联网+”战略，旨在促进互联网与各领域的融合发展。互联网正日益渗透到中国的消费行为、媒体、金融、交通等诸多方面，带来翻天覆地的变化。

此次借由中国互联网革命的引领者组成的代表团访日之机，我们将举办以互联网将如何改变中国社会、以及与日本的关系为题的讨论会，热忱欢迎感兴趣的东京大学及其他大学的学生、企业相关人士等报名参加。

日時：2015 年 11 月 25 日（水） 15:00-17:00

場所：東京大学本郷キャンパス法学部 4 号館 8 階 852 室

（末尾の地図をご参照下さい）

パネリスト（讨论嘉宾）：

王泰平（元駐大阪総領事）

魯世巍（清華大学当代国際関係研究院シニアフェロー）

董盟君（人民網副総編集長・人民オンライン総支配人）

周紅軍（新華網副総編集長）

呉海鵬（鳳凰網副総編集長）

馬健栄 京東（JD.com）シニア・プレジデント

李英梅 騰訊（Tencent）日韓ビジネスセンター長

寧 磊 百度(Baidu) 国際・政府事務部副部長

司会（主持）：高原明生（東京大学大学院法学政治学研究科教授）

使用言語：中国語／日本語（同時通訳つき）

主催：東京大学社会科学研究所現代中国研究拠点

後援：在日本国中国大使館広報部

どなたでも参加いただけます。参加費無料。但し、会場に限りがあるため先着 90 名様的事前申込制とします。参加希望の方は、ご自身のお名前、連絡先をご記入の上、下記のメールアドレスに申し込んでください。なお、記載していただいた個人情報はワークショップ開催の目的以外には使用いたしません。

東京大学社会科学研究所 現代中国研究拠点特任助教

薛軼群（せつ イググン） [kyotenccs@iss.u-tokyo.ac.jp](mailto:kyotenccs@iss.u-tokyo.ac.jp) 03-5841-4961

※ 定員に達し次第、受付を終了いたします。

